

都道府県名：福岡県 団体名：浮羽郡大石堰土地改良区

地域

浮羽郡大石堰土地改良区がご活躍されている福岡県うきは市は、福岡県の南東部に位置し、地形的には、南に耳納連山を抱き、北に筑後川が流れている自然に恵まれた地域です。耳納連山を源流とする巨瀬川、小塩川、隈上川が市内を流れ、筑後川に注ぎ込んでいます。

本市は、筑後川の南に広がる平坦部、平坦部と山間部との間にある山麓部、耳納連山に属する山間部に区分され、平坦部は肥沃な水田地帯が広がり、山麓部には果樹地帯が形成され、山間部は棚田などを含む森林となっています。

経緯

浮羽郡大石堰土地改良区がある筑後川中流の浮羽地方は、豊かな水量を誇る筑後川を眼前とすつつも利用できずに、干ばつ常襲の荒れ地で悩み苦しんでいた。江戸時代の寛文三年(1663年)に「五人の庄屋」が発起して、農民とともに知恵を絞り、上流約4kmの地点から導水するための「大石・長野水道」が開削整備された。これにより、豊かな水がもたらされ、今では約2,000haの日本有数の穀倉地帯へと変貌しています。

功績内容

・歴史ある農業用水の配水操作に止まらず、環境用水的な機能の発揮及び地域の排水機能を担うなど、多面的な機能を発揮させるため、地域の人々と連携し、良好な景観保全と施設の適正な維持管理に尽力された。



浮羽地方の穀倉地帯



大石堰の維持管理



地元小学生の舟下り体験



地元小学生との水路の清掃